



# 地方活性化 多彩な議論

新潟、産学国際シンポ

主要国首脳会議(サミット)労働相会合に合わせ、国内外の専門家が人づくり、地域活性化などをテーマに話し合う国際シンポジウムが十日、新潟市で開かれた。約百八十人が参加し、「起業家精神」「イノベーション」を切り口に意見を交わし

た。(詳報4面に)  
経済人や研究者でつく

る日本産学フォーラム(代表世話人・豊田章一郎トヨタ自動車名誉会長)と県、同市などの共催。同市の篠田昭市長は「新潟で人づくりや地域再生へのアプローチが話し合われるのは光栄だ。サミットを見据え議論を世界に発信したい」とあいさつ、各国から集まった参加者を歓迎した。

シンポでは一橋大の米倉誠一郎教授らが基調講演。続いて「教育」「社会科学が開かれ、各分野の専門家と泉田裕彦知事、同市長らが論議した。



# 受け入れ準備完了

## プレスセンターイベント開催

### きょうから

主要8か国(G8)労働相会合が11日、新潟市で3日間の日程で開催される。会場は朱鷺メッセでは10日、国内外の報道関係者が作業するためのプレスセンターがオープンし、新潟の伝統文化や地場産物を紹介するパネルが設置されるなど受け入れ準備が完了。市内各地では、映画の上映会、シンポジウムなど様々な関連イベントが開催された。

#### ◆会場

朱鷺メッセでは、参加各国の代表団に新潟の主要産物や歴史、特徴を知ってもらうために、展示ブースが設けられた。

県や新潟市などがつくるG8推進協議会が、関係機関、企業などから協力を呼びかけて作った。日頃の大雨を雨り、10日午後2時から17時までの間、シンポジウムも特設の水場が設けられた。日ネット、コロナなど県内主要企業の製品のほか、小千谷織などの伝統工芸も展示されている。

厚労省も関係外部団体などから日本の労働環境に関する展示を準備。同省の労働大臣や関係機関の幹部も来場予定。会場では、労働大臣が「受け入れの準備は完了している」と発言し、日本の労働環境だけでなく、新潟の

「トヨタも世界に売りたい」と話す。

報道陣向けのプレスセンターも開設された。期間中は、県内主要メディアのほか、ロイター通信、AFP通信など国内外約40社、約250人の記者が取材に当たると予定だ。

#### ◆適合新編

適合新編では、人間らしい仕事の表現を求める集会的シンポジウムを新潟市内で開催した。また、西大畑公園で行われた集会には約500人が参加し、賛同や協賛の意思表示を行った。一方、ユニコンプラザで行われたシンポジウムでは、国際労働組合連合会(ILO)のカーン・ライナー書記長と、経済協力開発機構(OECD)労働組合諮問



地元企業の製品を紹介する展示ブース(10日午後、新潟市の朱鷺メッセで)

#### ◆映画

新潟市中央区八千代の映画館「シネマ・フォーラム」が労働問題をテーマにした映画上映会をシンポジウムを

#### ◆産業フォーラム

新潟市中央区万代の本ナール新潟では、国内外の企業

#### ◆上映会

上映会では、権柄正樹監督の「トヨタ自動車の豊田章一郎社長が代表世話人を務める産業界リーダーの交流組織「日本産学フォーラム」と県、新潟市の共催で、国内外の企業、大学、国際機関関係者ら約100人が参加した。

シンポジウムでは「イン・パシオン(新潟県)を生み出す人づくりと社会的起業家精神」を主題とし、気候変動や資源の高騰など、グローバル化に伴う様々な課題の解決に向け、「人づくり」のための教育のあり方や、地方都市・地域の活性化などについての講演や討論が行われた。

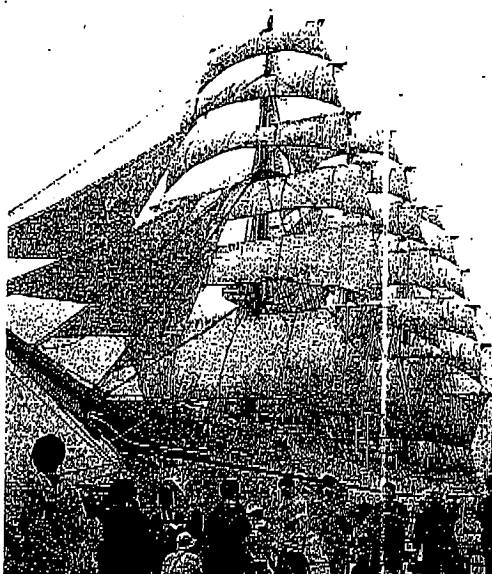
#### ◆日本丸が入港

朱鷺メッセ近くの新潟西港には、労働相会合の開催を歓迎しようと、世界最大級の練習帆船「日本丸」(全長約110m、2570t)が入港した。

日本丸は、白い帆を広げた姿の美しさから「太平洋の白鳥」と呼ばれる。この日は、実習生104人による帆を広げる訓練が公開され、計36枚の帆が全て広がると、見物に訪れた市民らから歓声が上がった。

11日は午前9～11時、午後1～3時半まで船内を一般公開する。14日に出港し、停泊中は毎晩午後8時までライトアップが行われる。

▲ 帆を広げた日本丸(10日午後、新潟西港で)



◆ G8 きょう労働相会合  
主要8か国(G8)労働相会合が11日、新潟市で開催される。3日間の日程で、平均寿命の伸びに伴う高齢者の就労や、経済のグローバル化と雇用・貧困の問題などについて議論する。

会場は、新潟県立労働相が議長を務める、G8各国のほか、欧州連合(EU)、国際労働機関(ILO)、経済協力開発機構(OECD)が参加。タイセイノドネシアもゲスト参加する。

20.5.11

読売新聞

p4 政治